



産大で良かったと思える会に

新潟産業大学父母の会 会長 関矢秀幸



平成28年度もあと僅かとなりました。今年度父母の会に新加入となりましてご父母の皆様方、また、全国6支部に所属する皆様方には、父母の会の活動にご支援とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

新潟産業大学父母の会は、皆様方のお子様が「学生生活を学則に準拠して効果的に全うするよう、父母の立場から援助すること」を目的としております。また、保護者と教職員として、保護者同士で話ができて、大学との信頼、期待、感謝を得ることができる場として、他にはない組織ではないかと思っております。さて、父母の会では恒例事業として大学の紅葉祭にあわせて、文化講演会を開催しております。今回は柏崎市出身の舞台女優、永宝千晶さんをお招きし、「私の選んだ道ゆりゆりとびあから文学座の女優になるまで」と題し、舞台女優を志すことになった話、新潟での活動を経て、文学座を目指したきっかけ、恩師や先輩に励まされた活動の指標、家族とのエピソード等をお聴きしました。学生もさることながら、我々も教えられることが多かった中身の濃い講演会となりました。また、父母の会では、皆様からお預かりした会費を使用し、学生食堂に50インチの大型テレビと関連機器を設置させて頂きました。今

年度はリオデジャネイロオリンピックも開催され、産大も関連する水球の日本代表戦等もあり、食堂を開放するなどして、日本のメダルラッシュで沸いた各種競技の模様も見ていただきました。また、学生の活躍する大会を記録して放映するなど活用して頂いています。

さて、産大は、「地域おこし」「人づくり」の大学を目指し、平成19年、地域にしっかりと根ざした「コンパクト・ユニバーシティ」への転換を宣言し、経済学部経済経営学科と文化経済学科の1学部2学科に再編しています。大学のコンパクト化は、学生一人ひとりに対してきめ細かい丁寧な教育を行うことを意味しています。産大は、カリキュラムや授業の内容を整備し、学生生活の支援を強化し、さらには就職活動を強力に支援して、大都市の大規模大学には真似できない、辛いところに手の届く「人づくり」の大学ではないかと考えています。私は父母の会に携わりその意義と重要性を益々感じ、一人でも多くの保護者にご紹介したいと思っております。そして、皆様に参加していただきたいと願っております。父母の会で、学校との繋がりを体験していただければ、安心して子供を託し「産大で良かった」と感じていただけることと思えます。

最後になりますが、産大と父母の会の益々の発展と皆様方のお多幸を祈念致しまして挨拶とさせていただきます。



発行所 新潟産業大学 父母の会 事務局  
〒945-1393 新潟県柏崎市軽井川4730  
☎(0257) 24-6402  
FAX 22-8241

創立70周年を控え、地域と本学の百年の計を案ずる

新潟産業大学 学長 北原保雄



平成29年、本学は創立70周年を迎えます。その起点は、昭和22年6月2日に遡ります。

本学の前身である柏崎専門学校(定員40名)と被服科15名(定員40名)をあわせて80名の入学生がいたことが、永年保存の学籍簿にも記録されています。創設者は、当時参議院議員の下條恭兵先生です。下條恭兵先生は、昭和20年終戦のとき、国土と人心の荒廃や民生不安を直視し、「戦後日本の再建・発展と平和で幸福な社会の建設は、一にかかって若い人材の育成に在り。」という使命感と大望を抱き、私財500万円を投じて柏崎専門学校を設立しました。この使命感と大望が、本学の建学の精神です。また、下條恭兵先生は、「これからの日本には、権力や時勢に左右されることのない、自主独立の精神に富んだ若者の育成こそが必要である。」との確信から、「主体的自我の確立」を教育理念としました。

本学は、「教育研究及び管理運営等の質の保証及び質の向上について自ら点検及び評価を行う。」とする「内部質保証方針」を定め、平成28年1年間をかけて、全学の自己点検・評価を実施しました。この自己点検・評価の中で、建学の精神と教育理念の継承の下に、新潟産業大学の目的、経済学部の目的と経済経営学科、文化経済学科それぞれの目的、そして大学院経済学研究科の目的をあらためて検証し改正しました。紙面の都合から掲載できませんが、「地域おこし大学」「人づくり大学」の新潟産業大学として、これらの目的のすべてに「地域経済や地域社会への貢献」をキーワードとして盛り込みました。大学ホームページをご覧いただければ

幸いです。

事実、本学はその教育研究の成果として、平成25年度、平成26年度、平成27年度と就職率100%を達成し、地域社会に有為の人材を輩出しています。平成29年度も100%に近づきつつあります。また、聴講講座開講等の「生涯学習事業」や「まちかど研究室の活動」「地域コミセンとの協働」等々を展開し、地域社会の振興に貢献しています。

平成28年11月に実施された柏崎市長選挙において、桜井雅浩新市長が誕生しました。桜井氏は、選挙期間中から一貫して、「新潟産業大学の公立大学法人化の意義と可能性、そして新たな学部学科構想などを検討し、1年で結論を出したい。」と表明しています。本学は創立70周年を間近に控え、新市長の表明を力に、地域と本学の百年の計を案じて、公立大学法人化の大きな意義と高い可能性をこれまで以上に広く強く訴え、市民の皆様への応援を得られるように努力してまいります。

『父母の会』年間事業

平成29年度 年間スケジュール

- 5月 前年度会計監査
- 6月 個別面談会
- 9月 役員会・総会・講演会の開催
- 9月~12月 各支部総会開催
- 10月 文化講演会 (学園祭開催に合わせて実施)
- 2月 会報発行
- 3月 役員会

〈役員募集中心!〉

平成29年度の「父母の会」役員を募集しております。大学のこと、学生たちのことを一緒に考え活動してみませんか。我こそはという方は、父母の会事務局(0257-24-6402)までご連絡ください。



### 就職活動体験談

経済経営学科 4年

大川 秀陽



内定を頂きました。

スーパリー業界は幼少期より魅力を感じており、大学入学前から就職を考え、スーパリー業界に就きたいな」と薄々ながら考えておりました。

なせ、そこまでスーパリー業界にこだわりがあったのかと言うと、私には「四つ上の兄」と「三つ下の妹」がいますが、そのきょうだいと共に、家族で行くスーパリーという場所は、私にとって公園や遊園地のような「思い出の場」となる「楽しい場所」として認識を幼少期よりしておりました。

私自身、物欲はもちろんありますが、それよりも「家族や友人との思い出を作ること」のほうが好きな人間であるというところも大きな理由の一つかもしれません。三年生終盤ともなれば、嫌でも就職活動という大きなイベントが始まります。

自分探し・部活動・良い成績・どれも大切なことだと感じます。しかし、私としては「アルバイト」という経験をすること、就職活動をする上で非常に大きな武器になると考えています。

私は、高校時代まで人見知りな人間でした。大学に入学後は「コンビニ」と「ドラッグストア」でそれぞれ一年ずつアルバイトを経験しました。初めてのうちは、お客様を前にしてもモジモジした対応をしてしまい、パートや社員の方から注意を受けることがありました。

しかしアルバイトながら社会を経験するなかで「初対面の人に対する人見知り」は無くなり、「相手が喜ぶために、自身がどのようなパフォーマンスができるのか」といった事を考え、追求できるようになりました。結果として、パートや社員の方々、そして、多くのお客様からも私の対応についてお褒めの言葉を頂くことができました。非常にありがたい評価や結果を得ることができました。

もちろん、アルバイトを経験しなくとも人として自身の成長ができる人もいます。と思います。しかし、私の周りの学生をみてみると「自分の考えを表現できる学生」と「自分の考えを全く表現できない学生」とでハッキリ分かれているのも事実です。

近年、多くの企業では選考の際に「コミュニケーション能力」を割合として多くみることが増えているようです。

あくまで、私の感覚ですが、講義での討論の場や話し合いでの提案力、そして「アルバイトの経験」が、就職活動に大きな影響をもたらす武器になると、就職活動を終えて強く感じました。

就職活動解禁と言われた三月一日、私はその一ヶ月前の二月より下準備を始めました。

それは「県内に本社を置くスーパリー」に該当する4社の「企業理念」「福利厚生」「基本給」といった簡単なものを比較することです。その甲斐もあり、三月の合同説明会では良いスタートを切ると共に、二回参加したのみで選考へ早い段階で進むことが出来ました。

また、「合同説明会」や「会社主催の説明会」の多くは新潟で行われ、柏崎市内で行われることはほとんどありません。そうしたなかで、交通費というものは大きな負担になります。柏崎新潟間で考えれば、高速バスであれば往復、約2600円。電車と往復、約4000円かかります。また、必要応募書類(成績証明書・卒業見込証明書・健康診断証明書)の発行代は(200円×3) 600円かかります。

私は、高速バスをメインとして利用し、就職活動を通して、1社あたり平均で一万円程かかりました。高速バスの移動時間は片道一時間四十分程かかります。その移動時間を有効に活用し、就職活動を有利に進めるために、私は「生活リズム」から「時間の使い方」まで様々な工夫を行いました。

二日三日に一度、または連日、新潟へ向かわなくては行けない期間が三週間ほど続きました。そのため、自宅にいない時間のほとんどを「企業研究」や「他の就活生より少しでも有利に立つための作戦を立てること」に専念し多くの時間を費やしました。結果として、睡眠時間は五時間以上絶対取らないようにし、高速バスでの移動時間のうち一時間を睡眠時間にあて残り四十分を復習の時間とすることで、選考本番にはスツキリした表情で、また、思考の良い状態で挑むことができました。

私は、努力の甲斐もあり、第一志望の企業様より内定を頂くことができました。しかし、それよりも「この二、三年間をじくじくり振り返る機会を得ることができたこと」そのことにより「両親やきょうだいといった家族、また今までお世話になった先生や顧問、友人といった多くの方々からの応援、支えがあったからこそ今の自分がある」のだと深く実感できたことが一番印象的でした。私は六月より内定を頂いた原信にてアルバイトをし、様々な部門で業務を経験させてもらっています。今回、就職活動というきっかけで気付けたことを忘れず、今までもお世話になった方々をはじめ、今後お世話になる方々に対し、感謝の気持ちを忘れず、謙虚で正直に、信念をもって強く生きていきたいと思っています。

今年の四月より私は新社会人となります。「良いこと」も「悪いこと」もひとつの経験として吸収し、一人の人間として、また一人の社会人として多くの進化を遂げ、自身の生活をより充実したものにしていきたいと考えております。

最後となりますが、私は親という存在は「教師」としての鏡でもあり、「反面教師」としての鏡でもあると思っています。それは、子供であらうと、大人であらうと同じ人間であるからです。将来、私は、親を一つの模範として、大川家に生まれた一人の人間として、大川家で学んできた教訓をもとに良い家庭を築いていきたいと思っております。

### 父母の声

子供達の学んでいる環境を感じて欲しい

父母の会 幹事長・新潟支部長 川上 雅亮



日頃、父母の会の活動にご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。教育活動を援助し、学生及び教職員並びに複利の増進を図り、大学と家庭との連絡協力を緊密にするとともに、相互の理解と協力により、大学の発展に寄与する。」と父母の会会則にあります。

6月の総会、本年度から10月となりました紅葉祭の文化講演会、9月・12月の各支部総会を大きな柱として活動しております。

近年学生数の減少もありますが、参加される会員の皆様が増えていることが会の悩みの一つであります。

私自身「大学の父母の会?小中学校でのPTA Aじゃあるまいし。」とも思っていました。が、自分の娘がどの様な環境で学んでいるのか?との想いから行事への参加、役員として運営参加させていただいております。

参加していくと、少しずつですが学んでいる環境がわかってきます。教職員の方々との会話により普段知ることの少ない大学での様子などには嬉しくなる話もありました。

会員の皆様におかれましては、まずは参加していただき学生たちの学んでいる環境を感じていただきたいと思います。

少し時間を作り、新潟産業大学・父母の会に来てみてはいかがでしょうか? 今まで知らなかった、学生、教職員・大学に

出会えることと思っております。

父母の皆さんと大学の共同の力で、学生たちにより明るい将来を

新潟産業大学 学生委員長 蓮池 薫



今年度春から学生委員会委員長を仰せつかり、この間、多岐にわたる学生の生活支援に、学生課の職員とともに取り組んでまいりました。至らな

いところも多々あったと思います。ただいつも心に留めてきたことは、目の前にいるわが大学の学生たちが今自分の人生のうちでもっとも重要な時期にいるということ、そして彼らの後ろには彼らの将来を誰よりも案じる父母の皆さんがいらっしゃるということです。それを考えると、どんなに小さな支援でもより効果的に行わなければならないし、かける言葉一つにしても学生に与える影響を考えて発していかなければならないと引き締めております。

さらに今、強く思うことは、大学卒業後、社会に羽ばたいていく学生に大きな希望と力を持たせるには、大学の力だけでも足りないし、父母の皆さんの力だけでも十分ではないということです。

学業・部活などは、大学が基本的に責任を負って行っておりますが、父母の皆さんの高い関心や方向付けがあつてこそ、学生はより積極的に取り組むことができます。経済面では父母の皆さん、または学生本人が基本的に負担していますが、大学としても学費や通学、アパート生活などで最大限の支援をすべく、日々心を砕いております。さらに卒業後の進路決定、就職に向けた支援や指導では、大学と父母の皆さんの共同作業がなければ、良好な結果は得られないでしょう。すべての学生支援が、大学と父母の力と息が合わさってこそ、真の支援になると考えます。

今、新潟産業大学が大きな力を入れて推進している大学公立化も、大学とともに学生の将来にも大きくかかわる事業であり、当然大学だけの努力ではできません。父母の皆さんのご理解ご支援によって、新潟産業大学は公立として、より改善された姿に生まれ変わり、学生の明るい前途に力強く寄与できる大学になると信じております。

今後とも大学にご意見・ご希望を寄せていただくとともに、学生たちと大学の将来のためにお力添えをいただければと心からお願ひ申しあげます。

今後とも大学にご意見・ご希望を寄せていただくとともに、学生たちと大学の将来のためにお力添えをいただければと心からお願ひ申しあげます。

今後とも大学にご意見・ご希望を寄せていただくとともに、学生たちと大学の将来のためにお力添えをいただければと心からお願ひ申しあげます。

今後とも大学にご意見・ご希望を寄せていただくとともに、学生たちと大学の将来のためにお力添えをいただければと心からお願ひ申しあげます。



経済的理由により修学困難な学生を支援する  
学費軽減制度について

新潟産業大学では、経済的理由により修学が困難な学生に対し、授業料の半額を免除する制度を導入しています。詳細は、以下の通りです。ご不明な点は、学生課(0257-24-6402)までお問い合わせください。

- 1. 対象者 本学の学部学生で、学費負担者の年間所得が次表に該当する者(留学生を除く)。

通学形態	自宅通学	自宅外通学
年間所得の上限	300万円程度	350万円程度

- 2. 学費軽減の期間 平成29年度(1カ年)
- 3. 学費軽減の範囲 授業料に限り2分の1を上限として軽減します。
- 4. 申請手続き方法 学生課にある所定の用紙に必要事項を記載するとともに必要書類(授業料減免申請書、家庭状況調査書、住民票、市区町村発行のH27年度所得・課税証明書、H28年度の所得金額を証明できるもの、他生活の困窮を証明できるものなど。詳しくは、申請書類に記載)を用意し、学生課に締切日までに提出してください。  
単年度申請であるため、今年度の採用者についても改めて申請する必要があります。
- 5. 申請書類提出期間 平成29年1月5日(木)~2月10日(金)
- 6. 審査について 学内において、提出された書類を基に、学費負担者および家計を一にする家族の年間所得、家族構成、奨学金受給の状況、修学意欲等を総合的に審査し、採否を決定します。
- 7. 通知について 学費軽減の採否については、3月10日(金)までに保護者宛に文書で通知します。

父母の会奨学貸付制度について

父母の会では、会員が経済的に困窮し緊急に援助を必要とする場合について、以下の通り無利子で資金を貸し付ける制度を設けています。貸与を受けられる範囲は、新潟産業大学父母の会会員の子弟に限ります。

詳しくは、父母の会事務局(0257-24-6402)までお問い合わせください。

- 1. 貸付限度額：学納金年額の限度内とします。但し、貸付金は学納金に充当して下さい。
- 2. 返 還：貸付年度内に返還して下さい。
- 3. 提出書類：学生課にある所定の用紙に必要事項を記入し、連帯保証人の身分を証明する書類を添え、父母の会会長まで提出して下さい。
- 4. 決 定：選考委員会で審査し、父母の会会長が決定します。
- 5. そ の 他：学籍を離れる場合は、直ちに全額を返還しなければなりません。



(大学のマスコット：サンチャッカル君)

父母の会会計

預金一覽

収入の部

(単位：円)

科 目	27年度予算額	27年度決算額	比較増減	摘 要
会費(新入生のみ)	1,980,000	1,990,000	△ 10,000	20,000円×99名=1,980,000円(1年生) 10,000円×1名=10,000円(編入等)
当年度事業積立金繰入	1,644,792	1,644,423	369	過年度に徴収した平成27年度事業積立金取崩分930,000円 +平成9年度奨学金基金積立第四銀行取崩分714,423円
雑収入	1,000	375	625	預金利息
前年度繰越金	448,216	448,216	0	
計	4,074,008	4,083,014	△ 9,006	

支出の部

(単位：円)

科 目	27年度予算額	27年度決算額	比較増減	摘 要
事務費	7,000	7,088	△ 88	通信費・振込手数料他
役員会開催費	90,000	31,348	58,652	通信費・交通費・昼食代他
総会開催費	130,000	116,432	13,568	通信費・印刷費・懇親会費他
支部活動補助費	450,000	394,690	55,310	北海道東北支部 45,564円 新潟支部 175,625円 関東支部 -5円 北陸支部 0円 中部東海支部 49,275円 近畿以西支部 52,250円 教職員派遣交通費 71,981円
事業開催運営費	450,000	293,556	156,444	文化講演会開催経費
課外活動補助費	1,000,000	1,000,000	0	部活遠征費・学友会への補助(紅葉祭・部活強化費他)
会報発行費	36,000	25,733	10,267	印刷費・発送費用
新入生合同歓迎会協賛金	20,000	20,000	0	柏崎市・商工会議所・各団体・市民が主催
卒業行事関係補助費	180,000	180,000	0	卒業パーティ経費
福利厚生費	30,000	0	30,000	慶弔費
奨学事業費	30,000	30,000	0	留学生を支援する会への寄附金
28年度事業積立金	495,000	495,000	0	前徴収事業費の当該年度までの積立金
29年度事業積立金	495,000	495,000	0	前徴収事業費の当該年度までの積立金
30年度事業積立金	495,000	495,000	0	前徴収事業費の当該年度までの積立金
予備費	166,008	0	166,008	
次年度繰越	0	499,167	△499,167	
計	4,074,008	4,083,014	△ 9,006	

(平成28年3月31日現在・単位：円)

種別	金額	満期日	備考
定期預金 №2142437	495,000	平成28年 6月29日	平成28年度事業に使用目的の積立金 北越銀行(スーパー定期自動継続) 利率0.025%
定期預金 №2142435	325,065	平成28年 6月18日	平成28年度事業に使用目的の積立金 北越銀行(スーパー定期自動継続) 利率0.025%
定期預金 №2142436	320,064	平成28年 6月18日	平成29年度事業に使用目的の積立金 北越銀行(スーパー定期自動継続) 利率0.025%
定期預金 №2142438	495,000	平成28年 6月29日	平成29年度事業に使用目的の積立金 北越銀行(スーパー定期自動継続) 利率0.025%
定期預金 №2142439	495,000	平成28年 6月29日	平成30年度事業に使用目的の積立金 北越銀行(スーパー定期自動継続) 利率0.025%
定期預金 №2142433	290,116	平成28年 6月27日	平成28年度事業に使用目的の積立金 北越銀行(スーパー定期自動継続) 利率0.025%
計	2,420,245		
定期預金 №2235327	2,019,041	平成28年 6月9日	平成6・7年度 奨学金基金積立 第四銀行(スーパー定期成長型) 利率0.025%
定期預金 №2235330	1,514,288	平成28年 6月9日	平成10年度 奨学金基金積立 第四銀行(スーパー定期成長型) 利率0.025%
計	3,533,329		
合計	5,953,574		
決済用 普通預金	499,167		北越銀行前崎支店 №458160
	2,245,000		" №541482 特別会計奨学貸付
計	2,744,167		



平成 28 年 柏崎市体育協会『優秀体育人表彰』受賞者について

優秀競技者賞

【水球】

- ・男子水球部 『第 92 回日本学生選手権水泳競技大会水球競技 3 位』
- ・女子水球部 (「柏崎アクアクラブ」に所属参加) 『第 92 回日本選手権水泳競技大会水球競技 3 位』

競技者賞

【卓球】

- ・宮澤僚太 (4 年) 『第 64 回春季北信越学生卓球選手権大会男子シングルス 1 位』
- ・邱文瑜(キョウユ) (3 年) 『第 28 回夏季北信越学生卓球選手権大会女子シングルス 2 位』
- ・齋藤駿介 (2 年) 『第 28 回夏季北信越学生卓球選手権大会男子シングルス 1 位』
- ・高橋将和 (4 年) 宮澤僚太 (4 年) 『第 64 回春季北信越学生卓球選手権大会男子ダブルス 1 位』
- ・男子卓球部 『第 64 回春季北信越学生卓球選手権大会男子団体 1 位』
- ・女子卓球部 『第 64 回春季北信越学生卓球選手権大会女子団体 3 位』

【空手道】

- ・岡本 桜 (2 年) 『第 42 回北信越学生空手道選手権大会女子個人組手 1 位』
- ・永井怜惟 (2 年) 『第 42 回北信越学生空手道選手権大会男子個人組手 1 位』
- ・錦織 奨 (2 年) 『第 70 回国民体育大会空手道競技新潟県予選会成年男子組手 軽量級 1 位』



水球部



平成 28 年 公認部大会成績一覧表

クラブ名	大会名	部門・種目および大会出場者名(学科・学年)	成績	クラブ名	大会名	部門・種目および大会出場者名(学科・学年)	成績		
空手道部	第 4 2 回北信越学生空手道選手権大会(5月)	個人女子組手 岡本 桜(文2)	優勝/32人	サッカー部	2016年度北信越大学サッカー選手権大会兼第40回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント北信越大会(5月)	竹内拓海(経4)、田中穰(経3)、高橋暉丈(文3)、桜井快(経3)、松島翔(経3)、赤尾裕太(経3)、内山高平(経3)、荒木宏仁(経2)、尾崎巨登(経2)、金子大輝(経2)、田口睦嗣(経2)、田中悠斗(経2)、道園悠史(経2)、瀬沼翔人(文2)、岡元侑王(経1)、後藤政樹(経1)、杉村勇樹(経1)、中村海里(経1)、齋見太(経1)、齋頭一敏(経1)	3回戦敗退		
	希望郷いわて国体空手道競技(10月)	男子個人組手 錦織 奨(文2)	出場		第4回北信越大学サッカーリーグ2部(9~10月)	女子 4 部 リーグ	浅野素花(経2)、大橋千穂(経2)、金子志穂(経2)、杉谷陽菜(経1)、田川さくら(経1)、外川惟奈(経1)、丸山未来(経2)	2位	
	平成27年度天皇杯・皇后杯全日本卓球選手権大会(1月)	男子 シン グル	宮澤僚太(経3)、齋藤駿介(経1)		出場	第5回日本杯争奪北信越大学バスケットボール春季リーグ戦大会(5月)	一般女子	2位	
卓球部	平成28年度国民体育大会兼第71回国民体育大会新潟県予選会(成年の部)(4月)	男子 シン グル	宮澤僚太(経4)	準優勝	女子バスケ ット部	第21回藤田修一杯争奪新潟県バスケットボール選手権大会(12月)	女子の部	3位/6チーム	
	平成28年度国民体育大会兼第71回国民体育大会富山県予選会(成年の部)(4月)	女子 シン グル	加藤春菜(文2)	優勝		ライフセー ビング部	第29回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会(5月)	100m マネキン トウ・ウイズフィン 200m メドレーリレー 100m マネキンリレー	高橋志穂(経3) 7位/25チーム 佐々木陽馬(経2)・片山雄起(経1)
	第64回春季北信越学生卓球選手権大会兼第86回全日本大学総合卓球選手権大会(団体の部)北信越地区予選会(5月)	男子 団 体	高橋将和(経4)、宮澤僚太(経4)、今井直弥(経4)、齋藤駿介(経2)、任辰政(文1)、小松拓也(経1)、佐藤俊真(文1)	優勝/4チーム (1部リーグ)	第31回全日本学生ライフセービング選手権大会【シニール】(9月)		サーフスキーレスキューマン オージャンマン	高橋志穂(経3) 2位/30人 片山雄起(経1)	
	第86回全日本大学総合卓球選手権大会・団体の部(7月)	女子 団 体	佐竹桃香(経4)、宮島愛美(文3)、邱文瑜(経3)、小野澤香奈(文2)、加藤春菜(文2)、坂田朋美(経1)	ベスト4/6チーム	ライフセービング世界大会 RESCUE2016(9月)		ユース日本代表	片山雄起(経1)	出場
		男子 シン グル	宮澤僚太(経4)	優勝/197人	第42回全日本ライフセービング選手権大会(10月)		サーフスキーレスキューマン オージャンマン レスキューブレスキュー	高橋志穂(経3)	3位/100人 4位/750人 7位/20チーム
	水泳部・男子(水球部門)	ジャパンウォーターポロリーグ(JWL)(2月~8月)	男子ダブルス	宮澤僚太(経4)・高橋将和(経4)	優勝/94ペア	弓道部	第91回通信公祭奉納弓道大会(8月)	女子の部 近 的	大竹祐佳(文3)
男子団体			高橋将和(経4)、宮澤僚太(経4)、今井直弥(経4)、齋藤駿介(経2)、任辰政(文1)、小松拓也(経1)、佐藤俊真(文1)	ベスト16/48チーム	近 的		大竹祐佳(文3)、西山友雅(文3)、三光光(経2)、上石愛海(経2)、志賀春佳(経2)	出場	
女子団体			佐竹桃香(経4)、宮島愛美(文3)、邱文瑜(経3)、小野澤香奈(文2)、加藤春菜(文2)、山岸麻希(文2)、笠原知乃(文1)、福島朋美(経1)	出場	柏崎市民武道大会(9月)		男子の部 遠 的	三光光(経2)	優勝
水泳部・女子(水球部門)	第92回日本学生選手権水泳競技大会水球競技(9月)	女子ダブルス	宮澤僚太(経4)・高橋将和(経4)	優勝/94ペア	第100回産産神社奉納弓道大会・一般(10月)	男子の部 近 的	大竹祐佳(文3)、西山友雅(文3)、三光光(経2)、上石愛海(経2)、志賀春佳(経2)	出場	
		女子団体	佐竹桃香(経4)、宮島愛美(文3)、邱文瑜(経3)、小野澤香奈(文2)、加藤春菜(文2)、山岸麻希(文2)、笠原知乃(文1)、福島朋美(経1)	出場	上越弓道選手権大会(10月)	男子の部 遠 的	三光光(経2) 三光光(経2)	2位 3位	

【サッカー部】「平成 29 年度の目標は、チーム一丸となって北信越大学リーグ 1 部昇格を目指します！」

【芸術文化部】「日本の伝統芸能の継承を重んじ、新たなチャレンジに全力で挑みます。」

【卓 球 部】「昨年は男女共にインカレ出場を果たしましたが、平成 29 年度は産卓球部の伝統を引き継ぎ、全国大会入賞を共に目指します！」

【水 球 部】「男子はインカレで一昨年 2 位、昨年 3 位、今年は優勝を目指し、女子はインカレで上位入賞を目指します！」

【空 手 道 部】「昨年・昨年の北信越大会男女個人組手優勝の実績を元に、平成 29 年度は北信越大会団体優勝と全国大会の上位入賞を目指します。」

【ライフセービング部】「世界大会の経験を持つ高橋・片山両選手を中心に、大会競技を通じて個々の体力とチーム力と救命の技術向上を目指します。」



ライフセービング部



今シーズンの初雪はいつだったでしょうか。地元柏崎では古くから米山(標高992.5m)が3回白く雪化粧すると里に住む私達の家々一帯が根雪に見舞われると語り継がれておりましたが、今年の冬は既に周囲の山々は繰り返し降雪により度々白く覆われているにも関わらず、平地はいつもと変わりません。普段生活するのに小雪は利点がありますが、自然界に生存する人として物足りない一面と何だか季節感(感性)が乏しくなるのが気になります。世界的にいわずゆる気候変動の異常が大学の在る柏崎においても感じられます。

それは人為的な要因であったり自然界の要因であったりしますが、ひとたび身近に災害や事故等が生じると、天に向かい平安を祈らざるを得ません。一人の人間として有事の際に出来る事が果たせるよう、日頃から気を引き締め備えていきたいです。(父母の会事務局)

編集後記